耐火クロス製防火／防煙スクリーン

耐火クロス（ガラスクロス製）を使用した、防火性能と防煙性能を兼ね備えた特定防火設備です。

■耐火クロス製防火／防煙スクリーン 製品体系

●巻取り式

区画王Ⅲ

- スタンダード型　避難口無し　（開口幅　W＝1.0～13m／開口高さ H＝0.5～6m）
- ウォークスルー型　避難口付き　（開口幅　W＝1.4～13m／開口高さ H＝2.1～6m）

（避難口は最大3カ所）

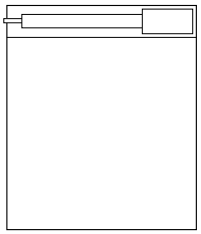
区画王Ⅲ　分割形

- スタンダード型　避難口無し　（開口幅　W＝8.0～14.5m／開口高さ H＝0.5～6m）
- ウォークスルー型　避難口付き　（開口幅　W＝8.0～14.5m／開口高さ H＝2.1～6m）

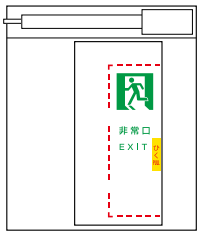
（避難口は最大3カ所）

区画王Ⅲ

■ スタンダード型（避難口無し）

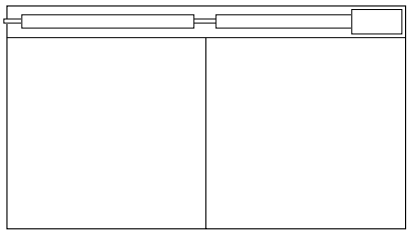


■ ウォークスルー型（避難口付き）

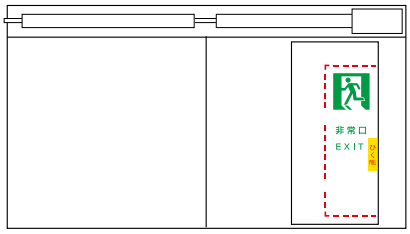


区画王Ⅲ　分割形

■ スタンダード型（避難口無し）



■ ウォークスルー型（避難口付き）



●バランス式

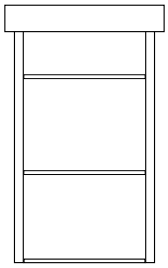
区画王ミニⅢ

- 持ち上げ型スクリーン

避難を有するホームエレベーターを含むエレベーター前の防火・防煙区画に使用した場合。

（開口幅　W＝0.8～2.5m／開口高さ H＝1.8～3.0m）

避難を有しない防火・防煙区画用開口部に使用した場合。



（開口幅　W＝0.5～2.5m／開口高さ H＝1.5～3.0m）

■ ウォークスルー型（区画王Ⅲ）

耐火スクリーンの一部に通り抜けできるウォークスルー（避難口）を設けたスクリーンです。
ウォークスルーは、手前の扉を引いてから、奥の扉を押して開けます。

■ 持ち上げ型スクリーン（区画王ミニⅢ）

エレベーター前専用の防火防煙スクリーンです。
耐火スクリーンを引き上げて避難ができます。

耐火クロス製防火／防煙スクリーン

区画王Ⅲ（電動式/手動式）

大空間の防火区画形成には、区画王Ⅲ

**区画王Ⅲは耐火クロス（ガラスクロス製）を使用した、遮炎・遮煙性能を兼ね備えた特定防火設備です。
収納スペースがコンパクトで、大空間の防火区画を形成するのに最適です。
避難口なしのスタンダードタイプと、スクリーンの一部に避難口を設けることでエレベーター前防火区画の遮煙対策にも最適なウォークスルータイプがあります。
スクリーンには透光性があり、降下時のパニック防止にも有効です。**

●スタンダードタイプ

●ウォークスルータイプ

■特長

●避難口を一連に最大3ヶ所まで設置できます。
●最大開口幅14.5m、最大開口高さ6mの大開口防火区画に対応可能です。
●天井内寸法が小さく、ガイドレール溝幅が10mmと、スッキリした意匠性の良い仕上りとなります。
●厚さわずか0.7mmの耐火クロス製シートは、重さも0.7kg/㎡と極めて軽量です。
●閉鎖中の耐火スクリーンにはさまれる事故を防止する「危害防止装置」が標準装備されています。
●巻取りシャフト、スクリーンの分割が可能な、搬送に便利な分割形もご用意しています。

■用途

●建物内部の面積区画
●エレベーター前の防火設備
●エレベーターまわりの竪穴区画
●エスカレーターまわり、吹き抜けまわりなどの竪穴区画

メンテナンス（定期点検）契約のおすすめ
火災時の確実な作動のためにメンテナンス（定期点検）契約をおすすめします。通常は使用されることのない区画王Ⅲにおいても経年劣化は確実に進んでいます。
もしものときのためにも普段からメンテナンスは必要不可欠です。

■スクリーンタイプ

適用座板(形状は下図参照)

スタンダードタイプ(SD)
- ●避難口なしのタイプ
  - 座板仕様Ⅰ型(座板底面が布巻き) …… A
  - 座板仕様Ⅱ型(座板底面がステンレス) …… B
  - 底面をスチールとする場合は WT-K座板の座板仕様Ⅱ型を使用 …… F

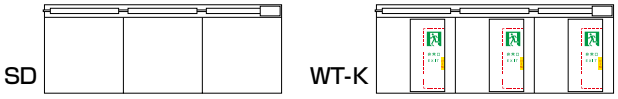
ウォークスルータイプ
- WT-EV ●小間口用の避難口付タイプ
  - 座板仕様Ⅰ型(座板底面が布巻き) …… C
  - 座板仕様Ⅱ型(座板底面がスチール・ステンレス) …… D
- WT-K ●避難口付タイプ
  - EV直前設置用
    - 座板仕様Ⅰ型(座板底面が布巻き) …… E
    - 座板仕様Ⅱ型(座板底面がスチール・ステンレス) …… F
  - EV直前以外の用途
    - 座板仕様Ⅰ型(座板底面が布巻き) …… E
    - 座板仕様Ⅱ型(座板底面がスチール・ステンレス) …… F

●ウォークスルーとは…

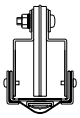
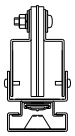
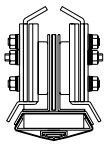
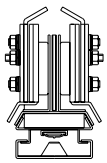
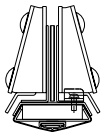
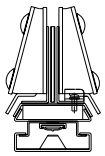
従来の防火シャッターと防火戸を一体化した、防火区画システムです。スクリーンの一部が非常時の避難口となり、これにより非常出口を支柱で仕切る必要がなくなります。
避難口は一連あたり3ヶ所まで設置可能です。ただし、分割形の場合は分割ピッチあたり1ヶ所、また、一体形のWT-EVの場合も1ヶ所のみとなります。
ウォークスルータイプを車イスの方が通り抜けるには、健常者の方の補助が必要となりますので車イスの方が通られるエレベーター前の区画には、区画王ミニⅢをおすすめします。

一体形 ●シャフト1本、シート1枚で一連を構成

分割形 ●シャフト・シートを分割、組み立てて構成(WT-EVの分割形はありません)



■座板形状と国土交通大臣認定番号

		SD		WT-EV		WT-K	
		A	B	C	D	E	F
							
適合する条文		座板仕様Ⅰ型	座板仕様Ⅱ型	座板仕様Ⅰ型	座板仕様Ⅱ型	座板仕様Ⅰ型	座板仕様Ⅱ型
特定防火設備(遮炎性能)	建築基準法施行令第112条第1項の規定	EA-0184	EA-0189	EA-0184	EA-0190	EA-0184	EA-0190
防火区画の防火設備(自動閉鎖装置)	建築基準法施行令第112条第19項第一号の規定	CAT-0254					
遮煙性能を有する防火設備(自動閉鎖装置)	建築基準法施行令第112条第19項第二号の規定	CAS-0255					
エレベーター乗り場戸前の空間を隔てて設置するバリエーション認定		CAS-0277					

■仕様

■シート
樹脂コーティング耐熱ガラスクロス(0.7mm) 色:ホワイト系
※シートは布製ですので、シワが生じていることがありますが、防火・防煙性能上は問題ありません。

■操作
●電動式(押ボタン式)

開閉機:SG13(0.13kW) 単相100V、三相200V/400V
SG15(0.2kW) 単相100V、三相200V/400V
SG20(0.25kW) 単相100V/200V、三相200V/400V
SG40(0.5kW) 単相100V/200V、三相200V/400V

●手動式(チェーン式/ハンドル式)

開閉機:SGH15、SGH20、SGH40
※電源(AC100VまたはAC200V)の供給が必要です。

■ガイドレール、まぐさ
●スチールまたはステンレス

■座板
●スチール(底面はスチールまたはステンレス)

■防災システム
火災により自動的に閉鎖することおよび、随時閉鎖することが求められます。
●煙(熱)感知器+手動閉鎖装置

■危害防止装置
押ボタンスイッチで操作した場合、降下中に座板が障害物にあたるとシャッターが停止します。火災信号や手動閉鎖装置により降下した場合でも障害物を検知すると停止します。

■設計耐用回数
●設計耐用回数:2千回開閉(作動不良を起こさない状態)
※設計耐用回数は保証値ではありません。「設計耐用回数」は、お客様により適切な維持・管理とお手入れをしていただくと共に、保守点検専門技術者による定期的なメンテナンスを実施し、取扱説明書に従って正しくご使用いただいた場合の数値です。なお、沿岸部、温泉地帯、化学・薬品工場などの腐食性環境や、大気中の砂塵、煤煙などが商品に付着する場所、および高温、低温、多湿などの使用環境下では記載数値を満たすことはできません。また、使用頻度、点検・お手入れなどの状況により記載数値を満足しないことがあります。

■設置基準
●使用場所に制限がありますので、P.180の設置基準をご確認ください。

■使用条件
●周囲温度:−10℃〜+40℃(凍結状態は除きます)
●周囲湿度:RH85%以下
●環境条件:屋内専用。沿岸部、化学工場などの腐食性環境を除きます。

メンテナンス(定期点検)契約
火災時の確実な作動のためにメンテナンス(定期点検)契約を必ず交わしてください。年1回以上の定期点検が必要です。

区画王Ⅲ（電動式/手動式）

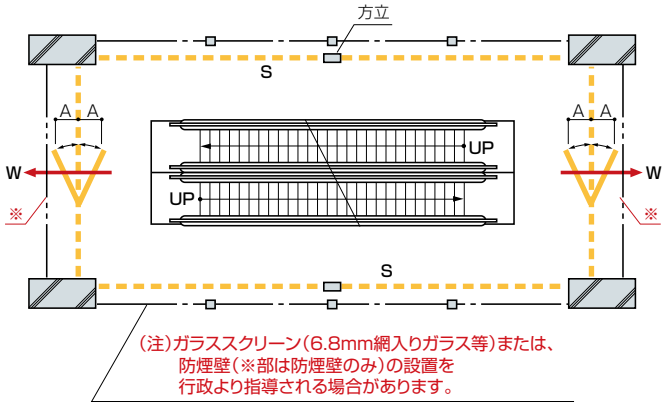
■設置例

S: スクリーン（避難口なし）　W: スクリーン（避難口付き）　SD: 鋼製開き戸
空間を構成する壁、床は準耐火構造です。

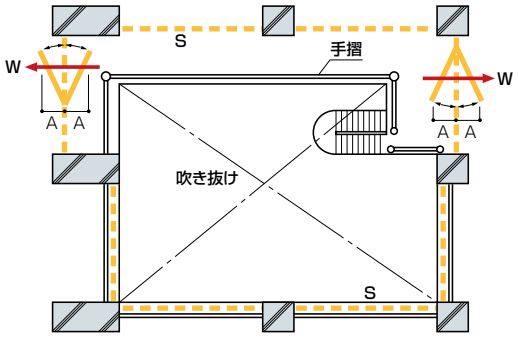
●エスカレーター周り、吹き抜け周りの防火防煙区画設置例〈CAS-0255〉

コンパクトな納まりなので、吹き抜け、エスカレーター周りの防火防煙区画設置に適しています。
また、事務所などの面積区画形成にも適しています。
Aの場所は、スクリーンドア開閉に支障となるものがない空間が800mm以上必要です。

エスカレーター周り



吹き抜け周り

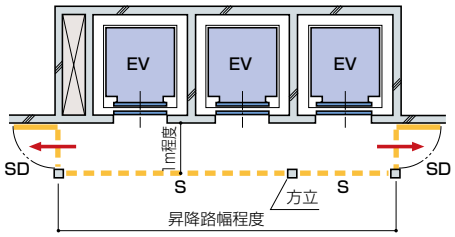


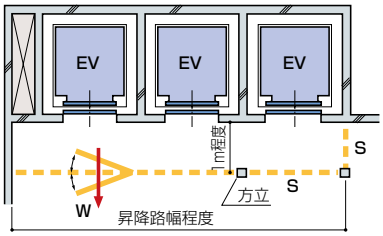
（注）設置基準の「ウォークスルータイプの使用できない場所」でないことを確認してください。（P.180参照）

●エレベーター前 防火防煙区画設置例〈CAS-0277〉

エレベーター乗降ロビーを区画することにより、
エレベーター三方枠付近に防火設備を設置しないので、エレベーターの意匠を損ないません。

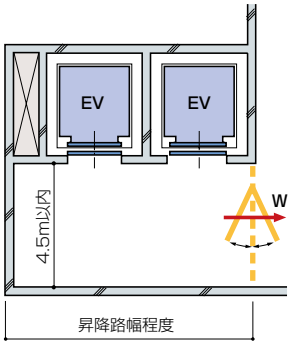
非常時に空間（乗場戸から1m程度）を形成する場合



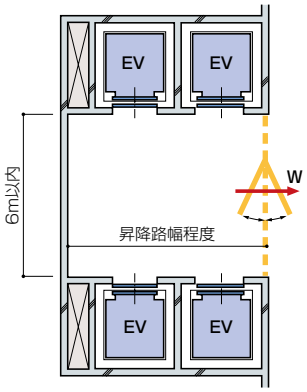


乗降ロビーを設ける場合

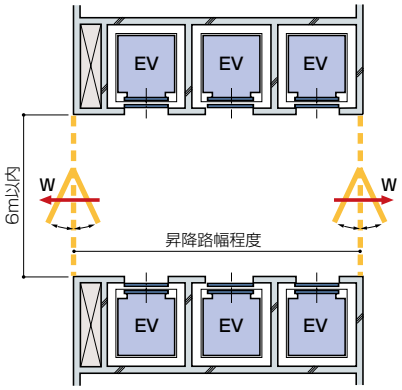
（エレベーター 一列、防火設備 片側）



（エレベーター 対面、防火設備 片側）



（エレベーター 対面、防火設備 両側）

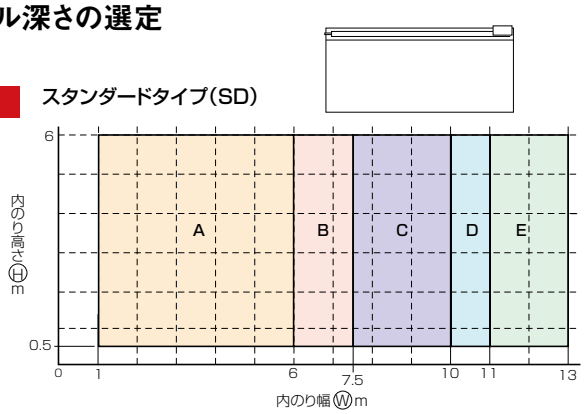


■使用範囲

●レール深さの選定

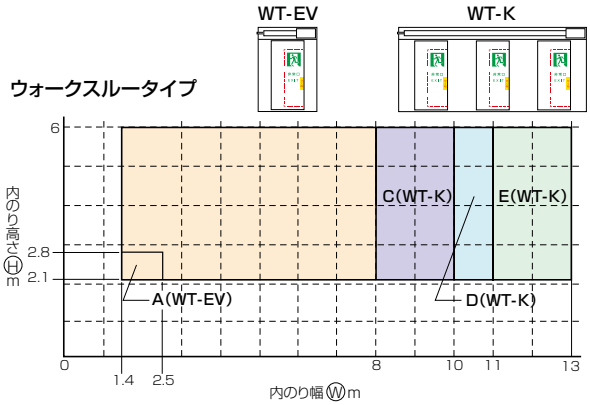
一体形

スタンダードタイプ(SD)



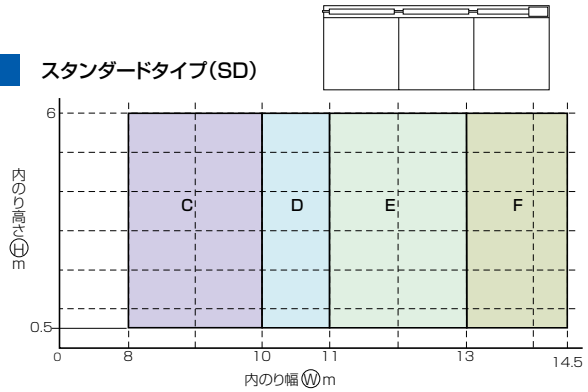
※防火防煙仕様の場合、開口面積(W×H)は75.3m²以下となります。

ウォークスルータイプ



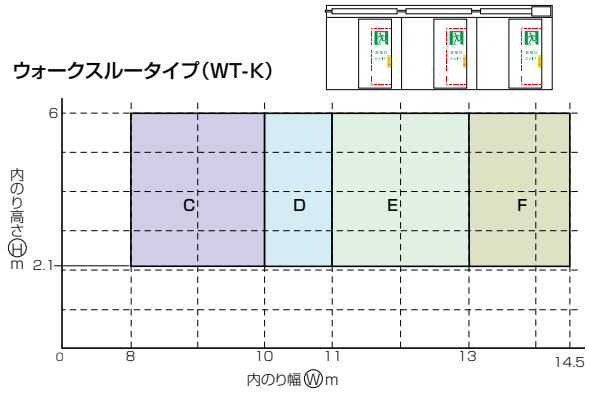
分割形

スタンダードタイプ(SD)



※防火防煙仕様の場合、開口面積(W×H)は75.3m²以下となります。

ウォークスルータイプ(WT-K)



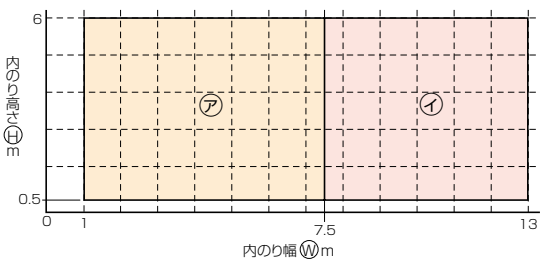
	A	B	C	D	E	F
ガイドレール深さ (単位:mm)	75	75:座板スイッチなし、座板底面(布巻き) 105:座板底面(スチール・ステンレス)	105	130	170	200

●開閉機の選定

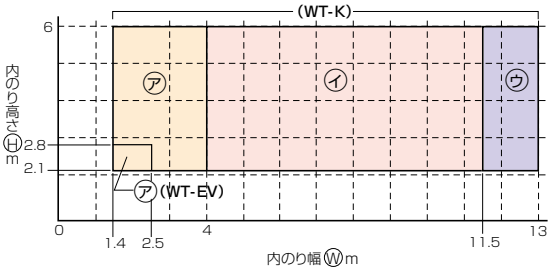
一体形

㋐	SG13 (SGH15)
㋑	SG15 (SGH15)
㋒	SG20 (SGH20)

スタンダードタイプ



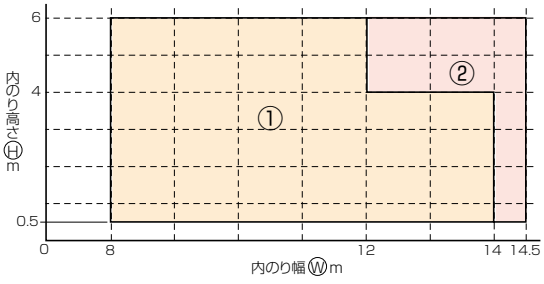
ウォークスルータイプ



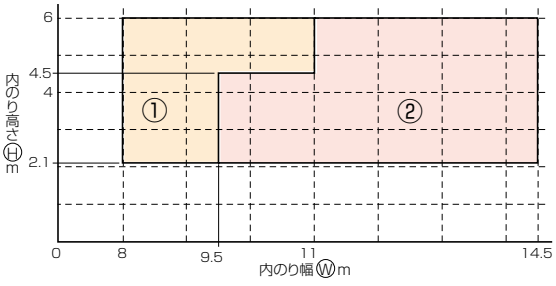
分割形

①	SG15 (SGH15)
②	SG20 (SGH20)

スタンダードタイプ



ウォークスルータイプ

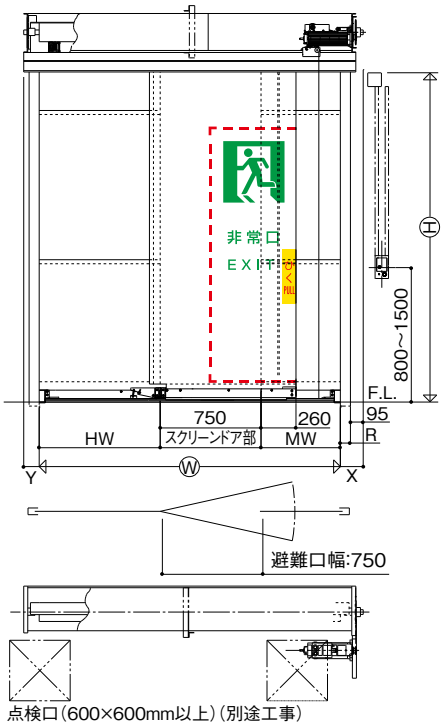


区画王Ⅲ（電動式/手動式）

■納まり形状と寸法（一体形）

単位：mm

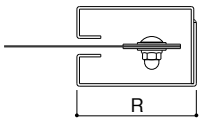
本図はウォークスルータイプ（WT-K）座板仕様Ⅱ型の場合を示します。袖ふところ寸法X、Yは、スタンダードタイプおよびウォークスルータイプの全ての座板仕様において同じで、ケース寸法は以下の表によります。また天井点検口（600×600mm以上）は左右一ヶ所、点検しやすい位置に設けてください（下図参照）。

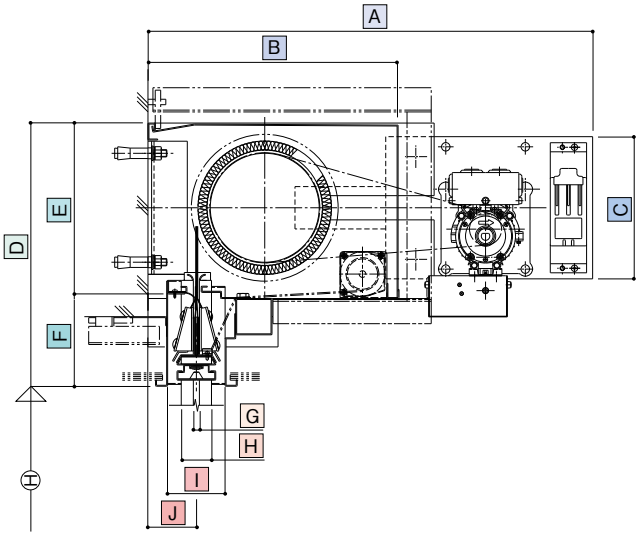


ガイドレール深さ R(mm)	75	105	130	170
開閉機側袖寸法 X(mm)	170	200	225	265(271)
従動側袖寸法 Y(mm)	115	145	170	210

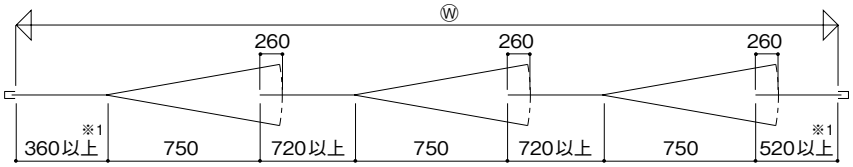
※（　）はSG20開閉機の場合を示します。

■ガイドレール形状





■スクリーンドアの設置位置



●ウォークスルータイプ（WT-K）の場合、スクリーンドアを図のように離して設置してください。一連3ヵ所まで設置可能です。
1400≦W＜1535の範囲は必ずスクリーンドアの戸尻側に開閉機を設置してください。

●スクリーンドアの高さ
スクリーンドアの高さはⒽ>2400の場合は2400mm。Ⓗ≦2400の場合はⒽと同寸法になります。
（スクリーンドアの高さは若干前後する場合があります。）
※1 サイズや納まりによって寸法を小さくすることができる場合がありますので、その場合はお問い合わせください。

※最小内のり幅Wは1400mmですが、納まりによって最小内のり幅Wがかわります。

		スタンダードタイプ			ウォークスルータイプ			
		W≦8m	8m<W≦10m	10m<W≦13m	WT-EV	W≦8m	8m<W≦10m	10m<W≦13m
A		710	780	810	710	735《710》	785	830
B		390	453	498	390	415《390》	478	518
C		235		360	235		360	
D	座板仕様Ⅰ型（座板底面布巻き）	375	475	545	400	435《405》	535	605
	座板仕様Ⅱ型（座板底面スチール・ステンレス）	380〈385〉	480〈485〉	550〈555〉	405	440《410》	540	610
E		260	350	420	260	290《260》	380	450
F	座板仕様Ⅰ型（座板底面布巻き）	115	125		140	145	155	
	座板仕様Ⅱ型（座板底面スチール・ステンレス）	120〈125〉	130〈135〉		145	150	160	
G		10						
H		50						
I		80〈95〉			110	95		
J		80						

※〈　〉内寸法は、スタンダードタイプの適用座板F（P.170参照）の場合を示します。
※《　》内寸法は、W≦8mの範囲のうちW≦6mかつH≦4mの場合を示します。

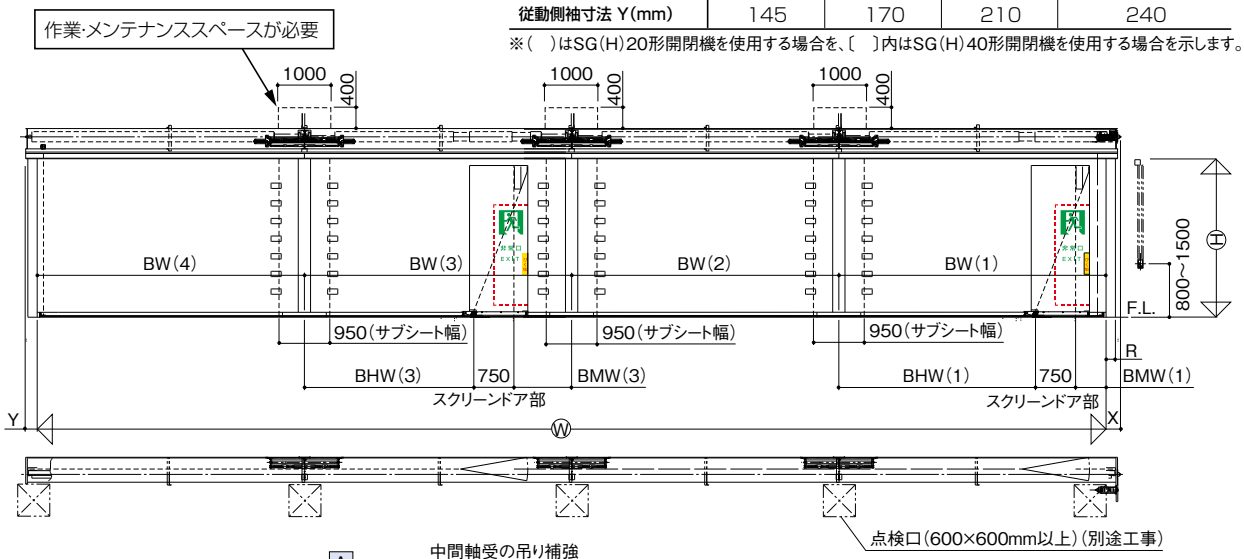
■納まり形状と寸法（分割形）

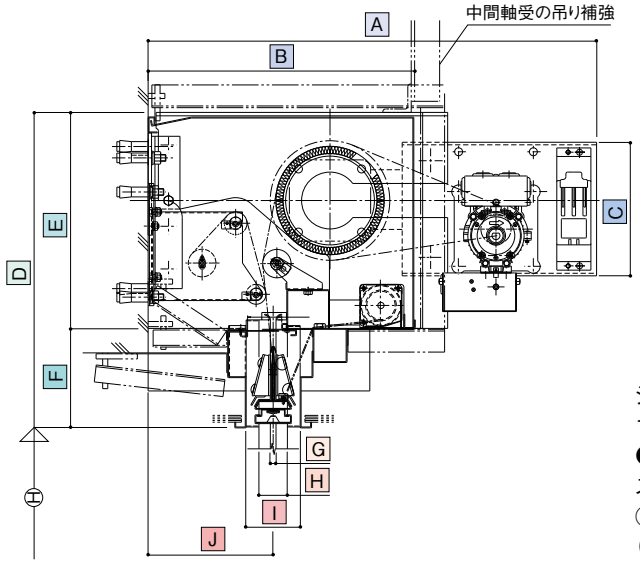
単位：mm

本図はウォークスルータイプ（WT-K）座板仕様Ⅱ型の場合を示します。袖ふところ寸法X、Yは、スタンダードタイプおよびウォークスルータイプの全ての座板仕様において同じで、ケース寸法は以下の表によります。また天井点検口（600×600mm以上）は左右一ヶ所および各シート分割部の点検しやすい位置に設ける必要があります（下図参照）。シート分割部の軸受け上部は下図のように幅1000mm高さ400mmの分割シート調整作業およびメンテナンスのためのスペースが必要です。また、中間の軸受けには吊り補強が必要です。分割ピッチBWは2.2～5mとし開口部を均等割にすることを基本としますが、梁を避けて作業・メンテナンススペースを確保する場合は分割ピッチに差をつけることができます。ただし、各分割ピッチの差は700mm以下としてください。

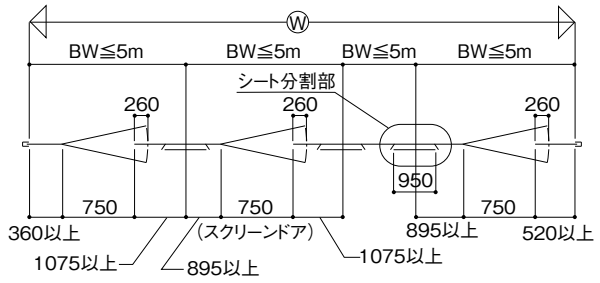
ガイドレール深さ R(mm)	105	130	170	200
開閉機側袖寸法 X(mm)	200〈206〉	225〈231〉	265〈271〉	295〈301〉〔315〕
従動側袖寸法 Y(mm)	145	170	210	240

※〈　〉はSG(H)20形開閉機を使用する場合を、〔　〕内はSG(H)40形開閉機を使用する場合を示します。





■スクリーンドアの設置位置



シート分割部、スクリーンドア（分割ピッチ：BWあたりスクリーンドアは1ヶ所のみ設置できます）は図の基準に沿って設置してください。

●スクリーンドアの高さ

スクリーンドアの高さはⒽ＞2400の場合は2400mm。

Ⓗ≦2400の場合はⒽと同寸法になります。

（スクリーンドアの高さは若干前後する場合があります。）

		スタンダードタイプ			ウォークスルータイプ	
		H≦4m	4m<H≦4.5m	4.5m<H≦6m	H≦4.5m	4.5m<H≦6m
A		780	790	910	790	910
B		445	470	595	470	595
C		235		360	235	360（W>18mの場合は380）
D	座板仕様Ⅰ型（座板底面布巻き）	515	540	605	550	615
	座板仕様Ⅱ型（座板底面スチール・ステンレス）	520〈525〉	545〈550〉	610〈615〉	555	620
E		355	380	445	380	445
F	座板仕様Ⅰ型（座板底面布巻き）	160			170	
	座板仕様Ⅱ型（座板底面スチール・ステンレス）	165〈170〉			175	
G		10				
H		50				
I		80〈95〉			95	
J		220		270	220	270

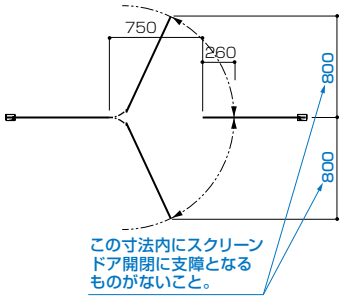
※〈　〉内寸法は、スタンダードタイプの適用座板F（P.170参照）の場合を示します。

区画王Ⅲ（電動式/手動式）

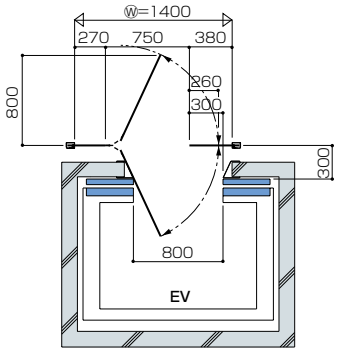
■設計上の注意点

ウォークスルータイプを計画する場合は、出入口が2枚扉式のため、
ドア部の軌道を考慮した（維持管理も含めた）十分なスペースを確保してください（下図参照）。

1 ウォークスルータイプ（WT-K）の場合

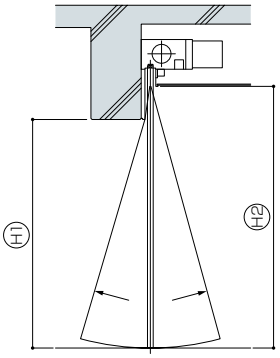


ウォークスルータイプ（WT-EV）Ⓦ=1400の場合



エレベーター出入口幅（800）の
場合の参考納まり例

ウォークスルータイプ（WT-EV、WT-K）の場合

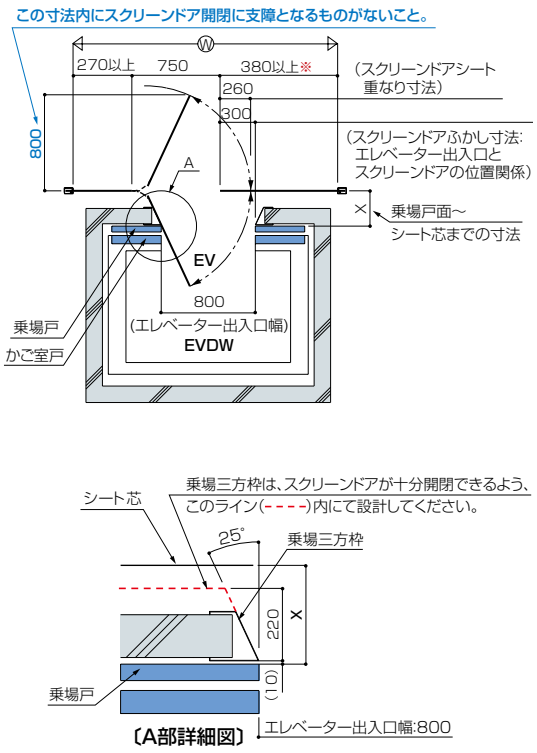


下がり壁の場所に設置する場合には、
H1寸法を2100mm以上確保してください。

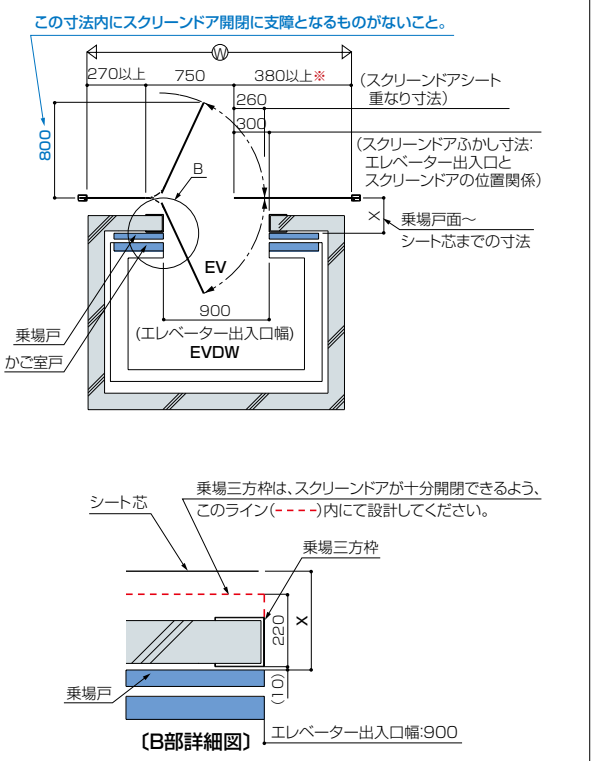
2 ウォークスルータイプ（WT-EV）をエレベーター直前に設置する場合

本図はエレベーター乗場前にウォークスルータイプ（WT-EV）を設置する場合を示します。
エレベーターホールを区画する場合は大臣認定のパターン図を参照願います。

〔エレベーター出入口幅（800）の場合の納まり〕



〔エレベーター出入口幅（900）の場合の納まり〕



スクリーンドアの戸先側に開閉機を設置する場合、戸先側寸法（※）を500mm以上にしてください。

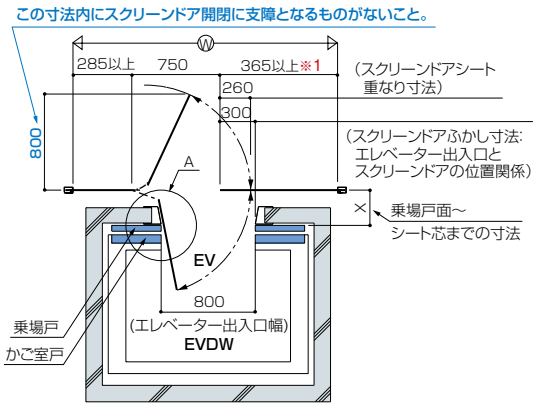
■設置可能範囲

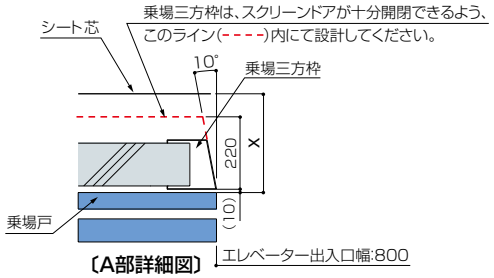
エレベーター出入口幅：EVDW	エレベーター乗場戸面～スクリーンのシート芯：X
800 ≦ EVDW	X = 300 または 1000 ≦ X ≦ 4500

3ウォークスルータイプ(WT-K)をエレベーター直前に設置する場合

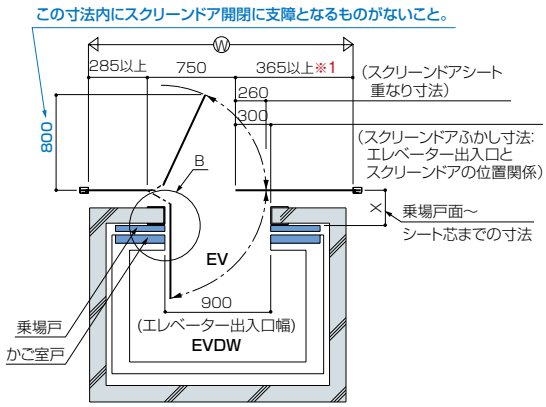
本図はエレベーター乗場前にウォークスルータイプ(WT-Kダブル丁番)を設置する場合を示します。
エレベーターホールを区画する場合は大臣認定のパターン図を参照願います。

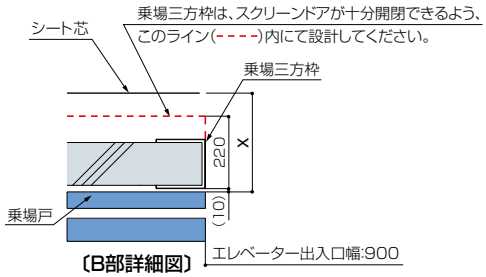
〔エレベーター出入口幅(800)の場合の納まり〕





〔エレベーター出入口幅(900)の場合の納まり〕





●スクリーンドア戸先側に開閉機を設置する場合、戸先側寸法(※1)を500mm以上にしてください。

■設置可能範囲

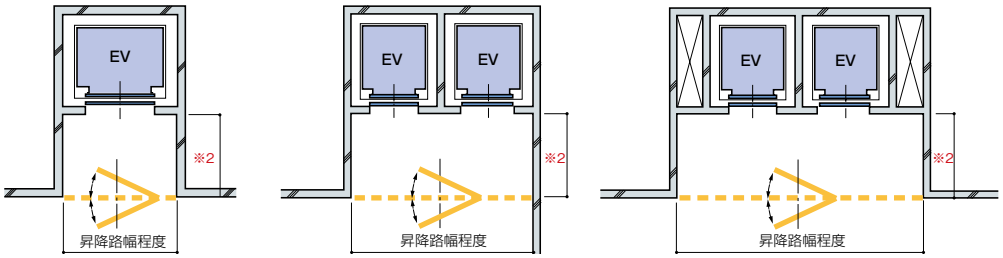
エレベーター出入口幅(昇降路幅):EVDW	エレベーター乗場戸面～スクリーンのシート芯:X
800 ≦ EVDW < 1000	X = 300 または 800 ≦ X ≦ 4500
1000 ≦ EVDW < 1100	X = 300 または 700 ≦ X ≦ 4500
1100 ≦ EVDW	X = 300 または 450 ≦ X ≦ 4500

●ウォークスルータイプは、スクリーンドアを引き寄せてから、奥の扉を押し開いて避難するため、
下記パターン図の場合、エレベーター乗場戸とスクリーンのシート芯の間は、一定の間隔(※2)を離して設置してください。
間隔は昇降路幅によって異なりますので上記の設置可能範囲表をご参照ください。

《一定の間隔を離して設置しなければならない理由》

スクリーンが自重降下し、エレベーター乗場戸とスクリーンの間に人が閉じ込められた場合
(エレベーター扉が閉まった状態)に、スクリーンドアから避難するために必要な間隔をとっています。

パターン図 **乗降ロビーを設ける場合**(乗場戸の正面に防火設備)



耐火クロス製防火／防煙スクリーン

区画王ミニⅢ（手動バランス式）

エレベーター前の区画形成には、区画王ミニⅢ

**区画王ミニⅢは、防火性能と防煙性能を兼ね備えたエレベーター前防火区画用の遮煙対策商品です。
スプリング内蔵の巻取りシャフトにより避難の際は、下部を持ち上げてくぐり抜けて脱出することが可能です。
通過後は自重でスクリーンが降下して閉鎖します。**

■特長

●スクリーンは耐火クロス（厚さ0.7mm）で超軽量、コンパクトに納まります。
●スプリング内蔵の巻取りシャフトにより、軽く引き上げられ、スムーズで静かな開閉を実現します。
●遮炎（防火）性能と遮煙（防煙）性能を有した国土交通大臣認定品です。
●手動方式を用い、シンプルな部品構成で低価格を実現しています。
●避難操作はシートを引き上げるだけの簡単操作。取手を付けることで車イスの方にも使いやすくなっています。
●既存のエレベーターにも、扉・三方枠に手を加えることがないので、短期間で施工が可能です。

■用途

【屋内専用】※下記以外は使用できません。
●ホームエレベーターを含むエレベーター前の防火防煙区画。
※エレベーター前専用
●避難を有しない防火・防煙区画用開口部（垂直搬送機の竪穴区画、マンション管理人室のカウンターなど）
※避難口としては使用できません。
※日常開閉する用途としては使用できません。

■避難時操作方法

火災時にスクリーンが自重降下し、防火・防煙区画を形成します。

避難の際は、座板の黄色の部分に両手をかけます。車イスの方の場合は、まず取手で引き上げてから黄色の部分に持ち替えます。

そのまま上に引き上げます。

頭上まで引き上げたら脱出します。
手を離すと自重降下し、再び防火・防煙区画を形成します。

■仕様

■シート

樹脂コーティング耐熱ガラスクロス（0.7mm）
色：ホワイト系
※シートは布製ですので、シワが生じていることがありますが、防火・防煙性能上は問題ありません。

■操作

●手動式（バランス式）

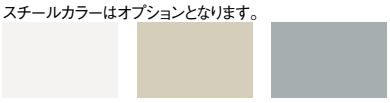
■巻取りシャフト

●スプリング内蔵

■ガイドレール、座板、まぐさ、ケース

●ステンレス
●スチール

スチールカラーはオプションとなります。



ホワイト　ライトベージュ　ライトグレー

■防災システム

火災により自動的に閉鎖することおよび、随時閉鎖することが求められます。
●煙（熱）感知器＋手動閉鎖装置

■設計耐用回数

設計耐用回数：2千回開閉（作動不良を起こさない状態）
※設計耐用回数は保証値ではありません。「設計耐用回数」は、お客様により適切な維持・管理とお手入れをしていただくと共に、保守点検専門技術者による定期的なメンテナンスを実施し、取扱説明書に従って正しくご使用いただいた場合の数値です。なお、沿岸部、温泉地帯、化学・薬品工場などの腐食性環境や、大気中の砂塵、煤煙などが商品に付着する場所、および高温、低温、多湿などの使用環境下では記載数値を満たすことはできません。また、使用頻度、点検・お手入れなどの状況により記載数値を満足しないことがあります。

■設置基準

●使用場所に制限がありますので、P.180の設置基準をご確認ください。

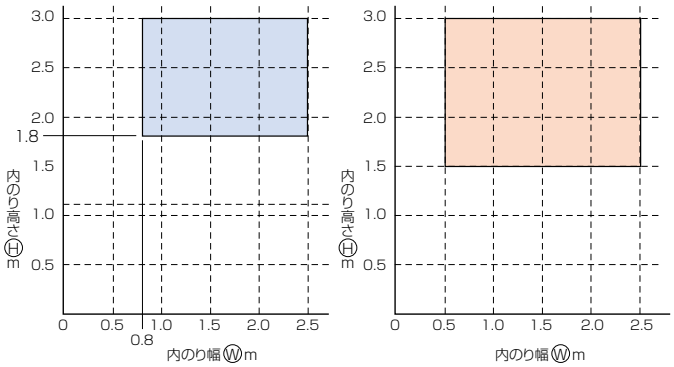
■使用条件

●周囲温度：−10℃〜+40℃（凍結状態は除きます）
●周囲湿度：RH85%以下
●環境条件：屋内専用。沿岸部、化学工場などの腐食性環境を除きます。

メンテナンス（定期点検）契約

火災時の確実な作動のためにメンテナンス（定期点検）契約を必ず交わしてください。年1回以上の定期点検が必要です。

■使用範囲



避難を有するホームエレベーターを含むエレベーター前の防火・防煙区画に使用した場合。
※エレベーター前専用です。
文字、非常口マーク、および取手あり。

避難を有しない防火・防煙区画用開口部に使用した場合。
※人の通る区画や避難口としては使用できません。
文字、非常口マーク、および取手なし。

非常口マーク：

■国土交通大臣認定番号

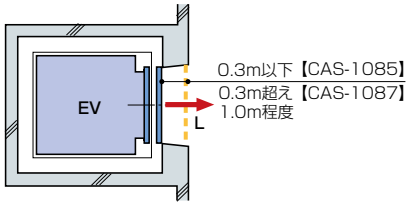
	適合する条文	認定番号
特定防火設備（遮炎性能）	建築基準法施行令第 112 条第 1 項の規定	EA-0277-3
防火区画の防火設備（自動閉鎖装置）	建築基準法施行例第 112 条第 19 項第一号の規定	CAT-1083
遮煙性能を有する防火設備（自動閉鎖装置）	建築基準法施行令第 112 条第 19 項第二号の規定	CAS-1085
エレベーターホールの空間を含めて区画する仕様の認定		CAS-1087

区画王ミニⅢ（手動バランス式）

■設置例

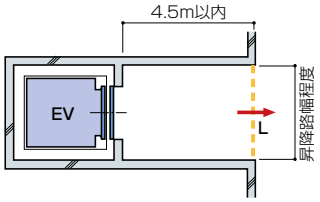
Lは区画王ミニⅢを示します。

【CAS-1085】
（乗場戸の直前に防火設備）

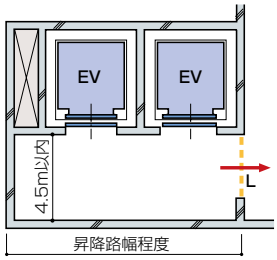


【CAS-1087】

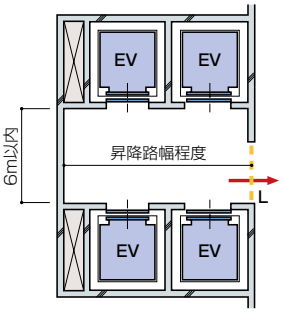
（乗場戸の直前に防火設備）



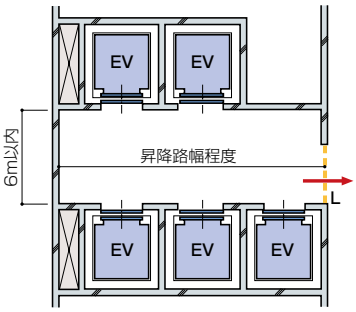
（エレベーター 一列、防火設備 片側）



（エレベーター 対面、防火設備 片側）



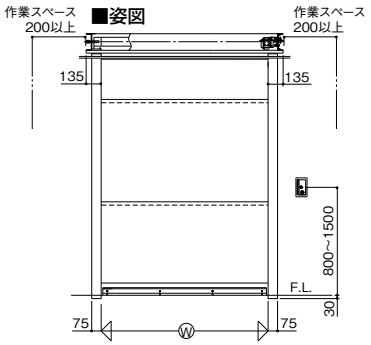
（エレベーター 対面2、防火設備 片側）

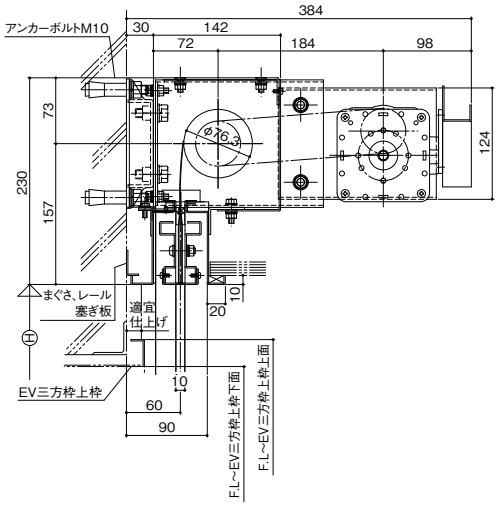


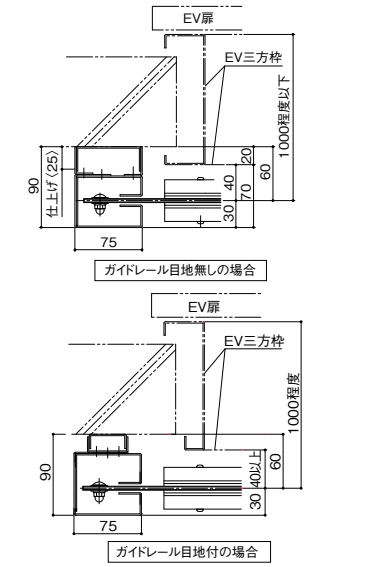
■納まり図

単位：mm

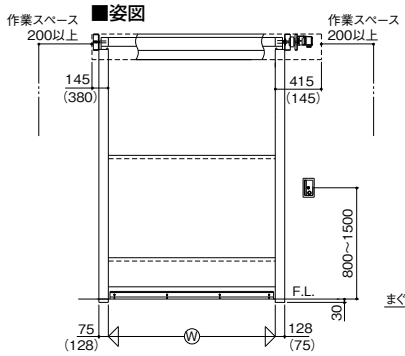
天井内納まり

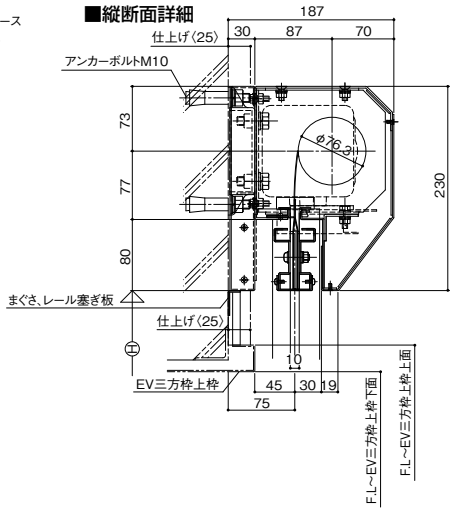


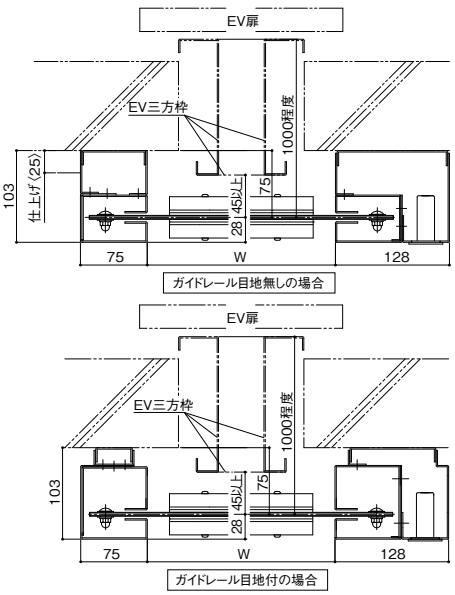




露出納まり







●本姿図は右形納まりの場合を示します。（　）内寸法は左形納まりの場合を示します。
●本図はパターン図にあります「乗場戸の直前に設置」を想定した場合を示します。

■設置に関する留意事項

(一社)日本シャッター・ドア協会が定めた基準を参照しています。
区画王Ⅲの設置については、スクリーンの物性上、破損等を防ぐため以下に留意してください。

区画王Ⅲ(ウォークスルータイプ、区画王ミニⅢ(手動バランス式)含む)の設置に関する留意事項

(1)常時開放方式の防火設備又は特定防火設備とし、日常開閉する用途には使用できません。

(2)機械排煙を行う区画には設置できません。ただし、自然排煙及び排煙機の圧力調整を行って、圧力差30Pa以下で排煙する区画では設置可能です。

(3)ガス系消火設備(二酸化炭素・窒素など)が設置されている空間はガスにより高圧力がスクリーンに加わり破損する可能性があるので設置できません。

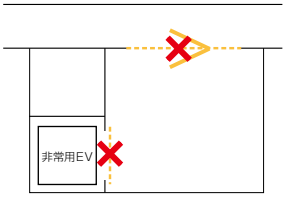
(4)屋外に直接面した区画や地下鉄のホームにつながっている区画等、外部風雨・列車通過時の風等、強い風圧の影響を受けるところにはシートが風圧により破損する可能性があるので設置できません。ただし、スクリーン面に直接風があたらないように有効な風除壁等が設けられている場合はこの限りではありません。

(5)倉庫、物販店舗の売場等で荷物、家具、棚等の転倒によりスクリーンを破損させる場所には設置できません。ただし、転倒防止対策がとられている場合、あるいは耐火クロススクリーン設置個所と家具・棚等との間が家具・棚等の高さ以上離れていれば設置できます。

(6)天井から吊り下げられている重量物(空調機、照明器具、音響設備等)が火災時に落下してスクリーンを破損するおそれのある場所には設置できません。ただし、落下が予想される対象物が耐火クロススクリーン設置個所より2m以上離れていれば設置できます。

(7)厨房等のように多量の油煙・水蒸気等が発生する場所は、巻かれたスクリーン同士が密着して降下障害の可能性があるので設置できません。

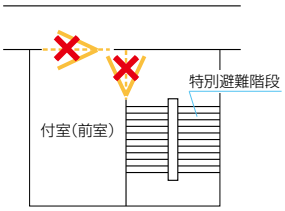
(8)非常用エレベーター前の区画には設置できません。ただし、消防署に理由を説明し了解を得ている場合は、この限りではありません。

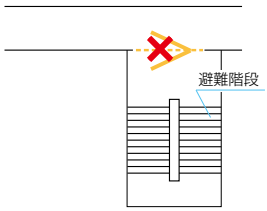


(9)外壁開口部、防犯管理が必要となる場所には設置できません。

ウォークスルータイプの設置に関する留意事項

(10)建築基準法施行令第122条に規定された特別避難階段及び避難階段、並びにそれらの階段室の前室における避難経路には設置できません。





(11)劇場、映画館、演芸場、観覧場、公会堂、集会場、百貨店、マーケット、展示場、キャバレー、カフェ、ナイトクラブ、バー、ダンスホール、遊技場等※の避難経路上には設置できません。

※ 建築基準法の別表第一(一)及び(四)に記載された特殊建築物。

区画王ミニⅢ(手動バランス式)の設置に関する留意事項

(12)通常の避難に供する部分には設置できません。